

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ビジュアルデザイン科	夜・通信	255	240	
	インテリア・プロダクト科	夜・通信	254	240	
	ITデジタルクリエイター科	夜・通信	170	160	
造形専門課程	総合デザイン科	夜・通信	323	320	
服飾専門課程	ファッションデザイン科	夜・通信	255	240	
	ショッププロデュース科	夜・通信	187	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	岡山県議会議員	令和7年6月4日～令和11年6月4日	教職員指導
非常勤	有限会社経営者	令和7年6月4日～令和11年6月4日	コンプライアンス指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・該当学科のカリキュラムに鑑み各科目の内容やスケジュール、課題等が学生にとって明確に判るよう、科目担当者及び学科担当者が作成を行う。 記載項目は「科目名」「単位数」「開講期」「担当講師名」「実務家教員担当の有無」「実務家教員の実務経歴」「企業連携の有無」「学科・学年」「授業の形態」「1日当たりの授業時間」「学修する目的」「学修到達目標」「履修にあたっての留意点」「授業計画と内容」「授業で重要視する社会人基礎力」「提出課題内容」「使用教材・教具」「評価項目と割合」とし、所定の様式に予め定められた字数以内で記載する。 ・シラバスは年度初めに配布する。シラバスの原稿は学科毎にとりまとめ、前年度末中に完成させる。 ・シラバスは全学生へオンラインによるデータ配布、学生募集時に希望者に配布し、また、公式ホームページにて公開している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与える。 考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行い評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスに記載の内容とする。 考査結果は学則上で定める方法により成績判定を行い、基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学期末の考查により科目ごと総合評価を100点満点で付け、学年末に全考查の総合評価の平均値を個人別に算出する。 個人別の平均値を「総合成績一覧表」に記載し、これを学科およびクラス別成績分布の記録とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には、4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中国デザイン専門学校
設置者名	学校法人第一平田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
収支計算書又は損益計算書	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
財産目録	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
事業報告書	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
監事による監査報告（書）	https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ビジュアルデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	1 0 5 単位	229 単位時間	3546 単位時間	1306 単位時間		
			5081 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		103 人	1 人	6 人	15 人	21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考查を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（データ配布）
成績評価の基準・方法
（概要）履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考查の受験資格を与え、考查は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準

(概要) 進級には年間 35 単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には 4 年制学科は 140 単位、3 年制学科は 105 単位、2 年制学科は 83 単位を要する。
学修支援等
(概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	25人 (78.1%)	7人 (21.9%)
(主な就職、業界等) デザイン、広告、企画			
(就職指導内容) 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、 三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定、Illustrator®クリエイター能力検定、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、iB u t			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
106人	6人	5.7%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	インテリア・プロダクト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	1 0 5 単位	518 単位時間	2414 単 位時間	1218 単 位時間	単位時間	単位時間
			4150 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45 人		17 人	0 人	2 人	14 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考査を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（データ配布）
成績評価の基準・方法
（概要）履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考査の受験資格を与え、考査は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要）進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等
（概要）担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 建築設計、雑貨販売			
（就職指導内容） 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、 三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩士検定、インテリアコーディネーター、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、iB			

u t、建築C A D検定、二級建築士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	2人	8.3%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	I Tデジタルクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	83 単位	229 単位時間	918 単位時間	810 単位時間	単位時間	単位時間
			1957 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		4人	0人	1人	5人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考查を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』 (データ配布)
成績評価の基準・方法
(概要) 履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考查の受験資格を与え、考查は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等

(概要) 担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (66.7%)	7 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) W e b デザイン、広告			
(就職指導内容) 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、 三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩士検定、I T パスポート、W e b クリエイター能力認定試験、Illustrator®クリエイター能力検定、情報デザイン検定、iB u t、ビジネス能力検定、			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	1 0 . 4 %
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	総合デザイン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 4 0 単位	476 単位 時間	5487 単 位時間	2958 単 位時間	単位時間	単位時間
			8921 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0 人		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は５０分で区切りこれを時限とする。授業は１年を２期に分け、期末ごとに考查を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（データ配布）
成績評価の基準・方法
（概要）履修した学科目ごとに出席回数が３分の２以上を満たした者に考查の受験資格を与え、考查は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要）進級には年間３５単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には４年制学科は１４０単位、３年制学科は１０５単位、２年制学科は８３単位を要する。
学修支援等
（概要）担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
０人 (0%)	０人 (0%)	０人 (0%)	０人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
０人	０人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ファッションデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	1 0 5 単位	185 単位時間	1652 単位時間	1459 単位時間		
			3296 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		16 人	0 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考查を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』（データ配布）
成績評価の基準・方法
（概要）履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考查の受験資格を与え、考查は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
（概要）進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等
（概要）担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレル企画			
（就職指導内容） 個別就職希望調査の実施、学内外講師による就職ガイダンスの実施、 三者面談での就職希望状況確認、企業見学、就職説明会参加、個別試験対策指導を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩能力検定、色彩士検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング検定、ビジネス能力検定、情報デザイン検定、i B u t
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ショッピングプロデュース科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	8 3 単位	399 単位時間	935 単位時間	643 単位時間		
			1977 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		6 人	0 人	1 人	7 人	8 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・授業は講義・演習・実習のいずれかの形式で行う。授業は毎週行い、授業時間は50分で区切りこれを時限とする。授業は1年を2期に分け、期末ごとに考查を行う。 ・年間の授業計画・・・『シラバス』(データ配布)
成績評価の基準・方法
(概要)履修した学科目ごとに出席回数が3分の2以上を満たした者に考查の受験資格を与え、考查は課題試験、筆記試験のいずれかにより行う。科目ごと設定した評価方法により評価を判定し、成績評価とする。評価方法及び評価項目ごとの評価割合はシラバスの該当科目の頁に記載の設定内容とする。 成績評価の基準を満たした者を合格とし、合格した者に単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要)進級には年間35単位以上及び該当年次における全必修科目の取得を要し、卒業には4年制学科は140単位、3年制学科は105単位、2年制学科は83単位を要する。
学修支援等

（概要）担任制により個別指導や相談が随時できる体制を取っている。学習に関する指導は科目担当・分野担当教員も併せて行っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	1 人	2 5 %
（中途退学の主な理由） 学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前教育(プレスクール)の実施、個別面談・三者面談の実施、学生主体イベント開催		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ビジュアルデザイン科	250,000 円	960,000 円	328,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
インテリア・プロダクト科	250,000 円	960,000 円	328,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
I T デジタルクリエイター科	200,000 円	720,000 円	178,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
総合デザイン科	250,000 円	960,000 円	328,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
ファッションデザイン科	250,000 円	960,000 円	328,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
ショッピングプロデュース科	200,000 円	720,000 円	178,000 円	その他に含まれる主な費用： 設備費、実習費、安全管理費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として卒業生、保護者、各専攻分野に関連する企業等の担当者から計5名以上を委員に任用し委員会を実施。 企業等委員との密接な連携による取り組みを重要視し、学校運営・教育環境・教育成果・学生支援等に関する学校評価結果を元に、学校長の指揮により組織的・継続的な教育活動等の改善に毎年取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
PATTERN STUDIO SYNERGY	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
株式会社ケイズ・ユニット	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
Famo. Design Studio	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
丹羽建築設計事務所	令和6年4月1日～令和8年3月31日	企業等委員
中国デザイン専門学校卒業生	令和7年4月1日～令和9年3月31日	卒業生
中国デザイン専門学校教育助成会会長	令和7年4月1日～令和8年3月31日	PTA
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://cdc-de.ac.jp/information/public-information/